SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

株式会社アースアンドウォーター
東京都千代田区内神田 3-18-3　SD ビル 3F
TEL：03-5298-1355　FAX：03-5298-1356
ホームページ
一般社団法人 日本SDGs協会 Japan SDGs Association 事業認定会員企業


節水・節電装置の開発、製造、販売など

## アースアンドウォーター

# 節水から水と共生できる環境社会を

山中正美社長

「節水から水と共生できる環境社会を」をテーマに、アースアンドウォーターは2011年に設立。以来、法人向け節水装置の製造、販売からレンタルといった独自のビジネスモデルを展開。

世界中で水不足が深刻な課題になっている今、水使用量の低減と持続可能な水資源管理が必要不可欠。

同社では、水道光熱費と、$CO_2$の削減で社会貢献活動が同時にかなうサステナブル節水システム「ASUWO（アスウォ）」の活用を提唱している。設立当時の節水業界は、〝売ったら終わり〟が一般的でアフターフォローは皆無で苦情も多く、評判が芳しくなかった。その本質を変えたい思いから、導入後の効果検証を含む定期メンテナンスをセットにしたレンタルプランを設けるなど一石を投じたことが功を奏す。

業界問わず、全国約1万施設以上で採用されるなど契約数が拡大。リピート率も98・5%を誇る。

宿泊施設においても、日本の客室数上位100社の4割強で活用され、「ASUWO」の導入で旅館・ホテルは平均で15%の水道使用量の削減となり、年間で約250万円の経費削減を果たした施設も存在する」と同社。

さらには節水によって削減された$CO_2$排出削減量を「$CO_2$排出削減証明書」として第三者機関から発行。その全国の節水によって削減できた$CO_2$排出削減を独自のポイント換算で現金化し、支援団体への寄付も実施。

SDGsの取り組みに合致した同システムは、業界で唯一省エネ大賞を受賞した節水装置「エコタッチ」シリーズをシャワーや蛇口に設置することで、それを実現させる。

「過去の水道データなどを検証し、現地調査の実施を経て、具体的な水道光熱費と$CO_2$削減量の無料診断を実施し、最適な提案を行う」と話す。

同社ロゴ
Earth&Water 株式会社アースアンドウォーター

【本社／東京営業所】東京都千代田区内神田３の18の３　ＳＤビル３Ｆ
【設立】2011年3月4日
【事業内容】節水・節電装置の開発、製造、販売およびその装置の取り付け施工など
【資本金】9600万円　【従業員数】79人（パート従業員含む）

企業プロフィール

コンピューターの販売、ソフトウエアの開発など

## 新日本コンピュータサービス

# ユーザーの細かいニーズに対応

新日本コンピュータサービスは、旅館・ホテルのコンピューターシステム開発に携わり45年のキャリアを誇る。開発、販売、アフターフォローの全てを自社で行い、「ユーザーの声を商品に反映させた使いやすいシステム」と旅館・ホテル経営者、現場の従業員からの評価も高い。同社の伊原成美社長に商品展開と今年の方針を聞いた。

◇　◇

――御社の商品について改めて。

**伊原**　このほど新たにリリースした基幹システム「MACRA（マクラ）」は、従来のシステムからプラットフォームを一新し、フルモデルチェンジしたものだ。従来商品の特長だった柔軟性をさらに強化した。ユーザーの細かい要望に応じたカスタマイズやオプションシステムの追加、各種端末システム機器との連動がさらに容易になった。

予約管理、フロント会計、顧客管理の各データを一元化したことにより、各部門間での情報共有が図れるとともに、データの加工、抽出がしやすくなり、レベニューマネジメントシステム等とのシステム連携が容易になり、さらに汎用性を持ったシステムとなった。

――ユニークなネーミングだが、由来は。

**伊原**　「マネージメント・アシストオブ・カスタマー・リザベーション・アカウント」の頭文字を取るとともに、旅館・ホテルに欠かせない「枕」と掛けた。著名なアートディレクターの丸山美有紀さんにご相談し、ネーミングとロゴ作成をお願いした。

――姉妹システムの「フロントシステムスマート」「フロントシステムBIZ」は。

**伊原**　スマートはフル装備がいらないという小規模旅館・ホテル向け。BIZは宿泊特化のビジネスホテル、簡易宿所向けだ。いずれもMACRAのプラットフォームに合わせてリニューアルするべく、現在、検討中だ。

――オプションシステムは。

**伊原**　予約客から電話が入ると画面にその情報が表示される「CTIシステム」、厨房のモニターに当日の料理に関する情報が表示される「厨房インフォメーションシステム」など、さまざまある。

伊原社長

最近、引き合いが多いのが、食事どころにおけるセルフオーダーシステム。顧客自身のスマートフォンがQRコードを読み込むことでオーダーの端末となり、自身で料理や飲料を注文してもらうものだ。コロナ禍もあり、共用のメニュー表を触ったり、人との接触をなるべく避けたいという顧客のニーズに合致するほか、人手不足で注文を取る要員を減らしたい施設のニーズにもマッチする。店員を呼ばずに気軽にオーダーできることから、飲料の売り上げが大幅に増えたというユーザーの旅館もいらっしゃる。

――今後の商品展開は。

**伊原**　個人客の増加に人手不足が重なり、チェックイン、チェックアウト時にフロントが混雑するようになった。

予約客に宿への到着前にメールを送り、ウェブ上で顧客台帳の必要事項を記入してもらったり、客室内でウェブを通して料金の決済をしてもらうなど、フロントの混雑を緩和するシステムを実装するべく、今、準備を進めている。

先ほどのセルフオーダーシステムは、インバウンドの増加を受けて、多言語対応を検討中だ。

――「使いやすいシステム」とユーザーから定評がある。

**伊原**　ユーザーの声を生で聞き、商品開発に生かしている。その点が評価を受けている理由ではないか。「こういうことができたら旅館・ホテルの現場が楽になる」と、われわれは常に考えている。

――年頭に当たり、旅館・ホテル経営者にメッセージを。

**伊原**　おかげさまで創業45周年を迎えた。およそ千軒のユーザーに当社のシステムをご利用いただいている。これらユーザー全ての声を聞き、すぐできること、できないことさまざまあるが、ニーズに応えられるよう最大限努力してまいりたい。

創業45周年を記念して、MACRAのロゴとおしゃれなアートをあしらった社員用ポロシャツとパーカーを、こちらも丸山美有紀さんの監修により作成した。

皆がおしゃれで素敵なデザインの服を着ることで社内の連帯感がより高まりモチベーションアップにつながった。2月の国際ホテル・レストラン・ショーで、この服で皆さまにお目にかかれると思う。

旅館・ホテルの成長がなければわれわれの成長もない。コロナ禍が明けて、お客さまが本格的に動き出した。皆さまの業務のお役に立てるよう、これからもまい進してまいりたい。

【本社】栃木県宇都宮市泉が丘５の７の11
【創業】1978年
【事業内容】コンピューターと関連機器の販売、運用指導、保守管理、ソフトウエアの開発・販売・保守
【資本金】2000万円


感謝・貢献　――あけましておめでとうございます――

より良いシステムの開発とお客様サポート体制の更なる向上に努め
旅館・ホテル様のよきパートナーとしてお役に立ちたいと思います

新たなプラットフォームでフルモデルチェンジ！

最大の特徴は　多様なニーズに対応できる柔軟性

◎データ連動性　・予約管理からフロント会計、売上管理そして顧客管理まで一元管理し、お客様の「入口」から「出口」そしてまた「入口」へとリピートサイクルの確立を支援します。

◎拡張性　・様々な連動オプションシステムを準備
CTI、厨房インフォメーション、売掛管理、タブレットチェックイン、セルフオーダリングシステム
ルームインジケーター、サイトコントローラ（2Way）、自動精算機、自動釣銭機、POS システム
スマートキー、財務会計システム連動、etc

◎柔軟性　・クラウド型（サービス提供型）・オンプレミス型いずれの形式でもご提供可能です。
・オンプレミス型～ クラウド型でもカスタマイズ・オリジナル帳票作成等 柔軟な対応が可能です。
・ご希望の外部システムとの連携など柔軟に対応致します。

旅館ホテルトータルソリューション MACRA ～マクラ～

MACRA
Management Assist of Customer・Reservation・Account

姉妹システム

充実したシステム内容で操作は簡単、価格は安く！
コンパクトなシステム　フロントシステム スマート
プレチェックイン　フロント会計　顧客管理

充実のシステム内容、驚きの価格
ビジネスホテル専用システム　フロントシステムBIZ

新日本コンピュータサービス株式会社
〒321-0952 宇都宮市泉が丘5－7－11
TEL.028-660-1160㈹ FAX.028-660-1161
URL　http://www.njcs.co.jp/
東京オフィス
〒162-0845 新宿区市谷本村町 3-19 千代田ビル 704
TEL.03-6457-5407 FAX.03-6457-5408